

平成 22 年度予算の概要

(1) 予算編成方針

平成 22 年度の予算編成方針は、平成 21 年 11 月 17 日の理事会で審議され、次のとおり決定いたしました。

学生納付金は、文学部及び大学院とも据え置きとします。

入学者予定数を文学部 440 名、大学院 15 名とします。

人件費は、教職員の退職者が減り、退職給与引当金組入額分が減少します。

教育研究経費及び管理経費は、前年並みに抑制するべく努力します。

基本金組入れは、本館耐震工事費や情報システムの入れ替え費用がなくなり、また借入金返済も減少することにより 7 億以上の大幅な減少となります。

(2) 消費収支予算

平成 22 年度消費収支予算は、帰属収入合計 24 億 9,844 万 8 千円、基本金組入額 2 億 4,954 万 9 千円、消費収入の部合計 22 億 4,889 万 9 千円に対して、消費支出の部合計は 23 億 5,809 万 8 千円で、消費収支戻は 1 億 919 万 9 千円の支出超過となる見込みです。これに前年度繰越消費支出超過額 20 億 5,256 万 5 千円を加えた翌年度繰越支出超過額は 21 億 6,176 万 4 千円の見込みとなります。

前年度予算との対比では、前年度本館耐震工事に対する補助金や雑収入の項目の中の私立大学退職金財団交付金が減少するので、帰属収入は前年度比 1 億 8,322 万 1 千円減少します。一方、基本金組入額は前年度の本館耐震工事関係の特殊要因がなくなるため 7 億 154 万 4 千円減少するために消費収入の部合計は前年度比 5 億 1,835 万 3 千円の増加となる見込みです。他方、消費支出の部合計は、人件費のうち、退職給与引当金繰入額の減少等により、前年度比 1 億 290 万 7 千円減少します。この結果、当年度消費支出超過額は、1 億 919 万 9 千円となり前年度比 6 億 2,126 万円減となる見込みです。

(3) 資金収支予算

平成 22 年度資金収支予算は、収入の部では、本館耐震工事に対する補助金収入や有価証券売却収入などが前年度より減少し、これらが、学生生徒等納付金収入やその他の収入の増加を上回ります。また、前年度繰越支払資金が 25 億 3,627 万 4 千円で、前年度より 2 億 7,725 万 6 千円減少しています。この結果、当年度の収入の部合計は、57 億 6,274 万円となり前年度比 5 億 9,324 万 3 千円の減少となる見込みです。

これに対して、支出の部では、人件費支出や本館耐震工事に対する施設・設備関係支出が大幅の減少するため、当年度支出合計は 29 億 4,367 万 6 千円となる見込みです。この結果、次年度繰越支払資金は、28 億 1,906 万 4 千円となり前年度比 4 億 980 万 3 千円の増加となる見込みです。